

パブリック・サービス研究分科会 図書館評価グループ研究活動報告

研究年月日：7月9日（月）

場 所：上智大学 四谷キャンパス

出席者：二塚（国立音楽大学）、田辺（国土舘大学）、藤原（駒澤大学）、
清水（相模女子大学）、東家（上智大学）、吉野（女子栄養大学）、
阿部（清泉女子大学）、成田（大東文化大学）、小松（東京家政学院大学）、
今井（文化女子大学）、椎名（明治学院大学）、辻本（立教大学）、
千家（國學院大學）

記 録：千家（國學院大學）

討議内容：

<教育支援> （今井・吉野・田辺）

自己点検・評価手法/チェックリストの最新版を確認し、機関リポジトリについて軽く触れる程度に項目を追加した。加藤先生の確認により、評価手法をチェックリスト、指標、アンケートの3本立てから、アンケートをやめ、チェックリストのチェック項目を増やし、チェックリスト、指標の2本立てに評価基準を作ることにした。

<電子情報サービス> （小松・阿部・椎名・二塚）

評価対象が、OPACについては図書館ウェブサイトに含まれて、新に「利用者が電子情報を入手するための支援態勢」（担当は二塚さん）を追加する

<レファレンス> （東家・辻本・千家）

東家さんにお声かけをしていただいた上智大学院生2名に対して、レファレンスについてのインタビューを敢行。学生にとってのレファレンスを再確認する。

<館内利用・貸出> （清水・藤原・成田）

今後の進め方について、加藤先生にご意見をいただいた。

評価手法としてチェックリストを作成することをあらためて確認した。

合宿中にチェックリストを完成させることを目標としたいということで、合宿前に月例会とは別にグループメンバーで集合し、チェックリストの見直しを行うことにした。